

中富記念くすり博物館だより

2023年4月1日発行 No.331



イベント情報

📷 フォトコンテスト-2023春-

薬木薬草園及び庭園の植物を撮影して応募しよう！選定はプロカメラマンが行い、入賞者には賞品を贈呈します。

期間：2023年3月18日～5月28日



🌐 国際博物館記念の日

5/18(木)は「2023年国際博物館の日」です。

この日は入館料無料！

さらに学芸員による館内ガイドも開催します。(要予約)

↓ イベント詳細はこちらから ↓



HP



Instagram



Facebook



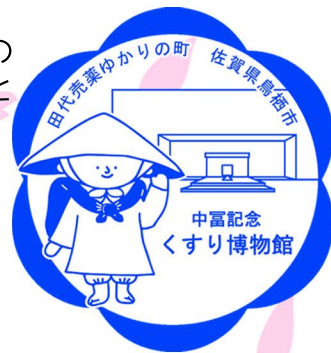
LINE

来館記念スタンプリニューアル

来館記念スタンプがリニューアルしました！新しいスタンプは、売薬人さん&建物のイラスト♪手書き調のとっても可愛いデザインです。スタンプマシーンもアップグレードし、押しやすくなりました。

さらに、ノートなど厚手のものにもきれいに押すことができます。

スタンプは売店の書籍コーナーにあります。ご来館の記念にいかがですか？



薬草美術館 絵画の中の植物をご紹介します

ギリシア神話の登場人物ヒュアキントスは絶世の美少年。彼は太陽神アポロンの愛人でしたが、西風の神ゼピュロスも彼を愛していました。

ある日、アポロンとヒュアキントスが円盤投げの遊戯を行っている様子を見てゼピュロスは嫉妬し、風を吹かせました。するとアポロンの投げた円盤の軌道がヒュアキントスの額に向けて変わり彼を直撃、大量の血を流して死んでしまいました。

頭部から流れる血から咲いた花が「ヒヤシンス」であるといわれ、このエピソードから花言葉は「悲しみを超えた愛」となりました。

この絵画では瀕死のヒュアキントスをアポロンが抱きかかえるドラマティックな場面が描写され、足元には円盤がむなしく落ち、赤と白のヒヤシンスの花が咲いています。

そしてアポロンのなびいたスカーフはゼピュロスの存在を表しているとされます…。



ジャン・ブロック 《ヒュアキントスの死》1801年
サントクロワ美術館（フランス）
Wikimedia Commonsより
（パブリックドメイン）

「世界の何だこれ!?ミステリー」にVTR出演しました!!

3/1に放送された「世界の何だこれ!?ミステリー」(フジテレビ)に当館学芸員がVTR出演し、「往診用薬箱」について解説しました。これに伴い、「往診用薬箱」を特別に展示しています。

※番組に登場したものではありません

展示期間はGW頃までを予定していますのでこの機会にぜひご覧ください。



★ご来館に関するお願い★

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各機関からの最新情報をもとに以下の対策を行っています。

- ・検温は実施しませんが、発熱や風邪症状、体調がすぐれない方は入館できません。
- ・マスク未着用でも入館できますが、他のお客様との間隔を十分に取り、館内での会話はお控えください。
- ・入館前に入口での手指消毒にご協力ください。

